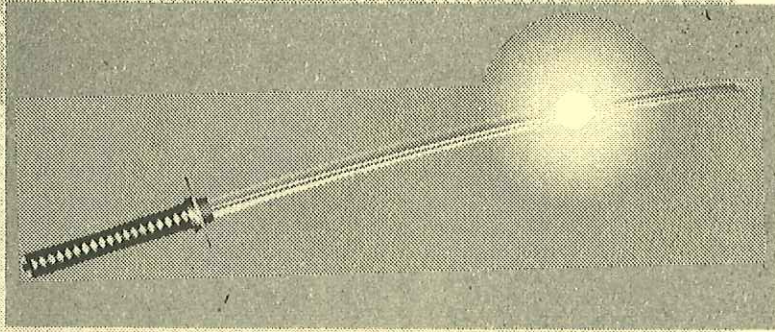


日本刀の美に迫る

徳川美術館の名品から

日本の刀剣は武器としての機能だけでなく、信仰や権威の象徴にもなり、江戸時代には、日本刀は武士の精神性を象徴するものでもありました。現代では、美術工芸品としての価値が高く評価されており、最近では、アニメ等をきっかけに幅広い世代から脚光を浴びています。刀剣の鑑賞に役立つ予備知識を学びながら、古くからの名刀を映像で鑑賞し、その見どころを紹介します。



3月25日(日)
午後2時～3時30分

場所 ハートフルスクエア-G
2階 大研修室

定員 100名
(応募者多数の場合は抽選)

受講料 300円

講師 並木 昌史 氏
(公財)徳川黎明会 徳川美術館 学芸員〈刀剣担当〉



1970年生まれ。1995年國學院大學大学院修了後、財団法人 徳川黎明会 徳川美術館(当時：現在は公益財団法人 徳川黎明会 徳川美術館)に勤務、現在に至る。専門分野は日本文化史、日本服飾史、古文書や金工(刀剣)など。論文に「延宝七年石清水放生会の再興」(『國學院雑誌』1995年)ほか。近年開催の展覧会に「<珍品・奇品・迷品>展」(2016年)、「<ザ・ベスト@トクガワ>展」(同年)など。

【応募方法】 往復ハガキ(1枚につき1人)に①講座名②〒・住所③氏名④年齢⑤電話番号を記入して**3月15日(木)(必着)**までに下記へお申込ください。直接申込の場合は、返信用ハガキをお持ちください。

※ご記入いただいた個人情報は、講座運営のために使用し、適正な管理に努めます。

【申込・問い合わせ先】 岐阜市生涯学習センター 生涯学習係
〒500-8521 岐阜市橋本町1-10-23 ハートフルスクエア-G内
TEL: 058-268-1050 / FAX: 058-268-1057